

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公開番号】特開2018-191679(P2018-191679A)

【公開日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2018-047

【出願番号】特願2017-95230(P2017-95230)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段と、

前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段と、

予告演出を実行可能な予告演出手段とを備え、

前記予告演出手段は、

前記表示手段の表示に関する第1予告演出と、通過領域における遊技媒体の通過に関する第2予告演出とを実行可能であり、

所定事象の発生により前記表示手段の表示が停止する停止期間に応じて前記第1予告演出を実行可能であり、

前記停止期間においても前記第2予告演出を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 上記目的を達成するため、本願の請求項に係る遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段（例えば演出データメモリ123など）と、前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段（例えばCPU131、VDP135など）と、予告演出を実行可能な予告演出手段（例えばスピーカ8L、8R、演出用点灯役物90、演出用可動部材32A、32Bなど）とを備え、前記予告演出手段は、前記表示手段の表示に関する第1予告演出（例えば動画像再生によるリーチ演出など）と、通過領域における遊技媒体の通過に関する第2予告演出（例えば始動入賞報知SH1など）とを実行可能であり、所定事象の発生により前記表示手段の表示が停止する停止期間に応じて前記第1予告演出を実行可能であり（例えば図20における動画像再生開始、動画像再生終了を参照）、前記停止期間においても前記第2予告演出を実行可能（例えば図20における動

画像再生開始より前に始動入賞報知ＳＨ1を実行可能)である。